

建設技術総合センターの開設

鉄道施工技術の向上と安全文化の構築に向けて

当社はこれまで、鉄道・交通インフラ工事にかかわる企業として安全の確保を最優先に、鉄道工事安全システムの構築を推進してまいりました。この度、これらの施策の集大成として、従来の技術センターに鉄道工事实験型の屋外研修施設を、屋内には事故の情報展示館や研修室を整備し、建設技術総合センターとして生まれ変わりました。これらの安全研修施設は、鉄道設備・鉄道工事の基礎から応用までを実体験しながら学ぶことにより、感性の高い鉄道工事スペシャリストを育成し、過去の事故情報を糧にすることで、より一層、建設工事の安全性向上につなげてまいります。

技術者教育の再構築

営業線近接工事の基礎から応用までを体得させ、感性の高い鉄道工事技術者を育成する。



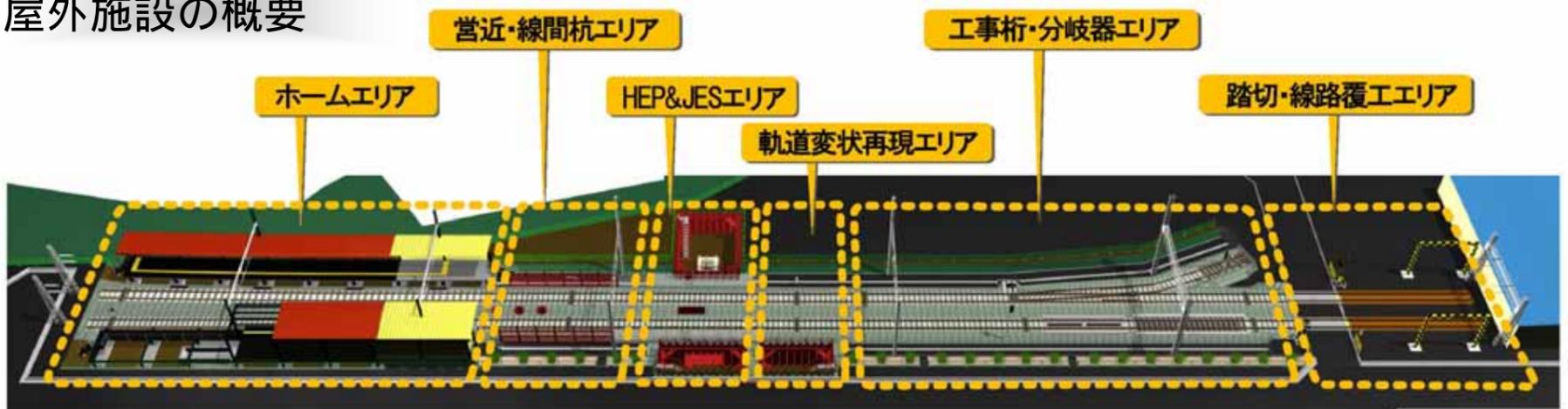
実体験型の教育研修

実体験型の教育により、安全・品質の確保と技術継承、現場力の向上を目指す。

失敗から学ぶ

過去の事故から学ぶことで、予防安全型の安全研修を行う。

屋外施設の概要



HEP&JESエリア

【設備の概要】
掘削装置、けん引設備を配備
施工段階のJESエレメントを設置
軌道計測設備を設置
線間に可視化できるスケルトンピットを設置
線路縦断勾配(5/1000)区間設置



軌道変状再現エリア

【設備の概要】
線路下に軌道を強制的に変状させる設備、軌道計測設備を設置



ホームエリア



工事桁・分岐器エリア



踏切・線路覆工エリア



事故の情報展示館

安全研修施設写真



鉄 建

(お問い合わせ先)
エンジニアリング本部 技術企画部
TEL03(3221)2243 FAX03(3239)1685
建設技術総合センター
TEL0476(36)2371 FAX0476(36)2379